



広報

昭和

しょうわ

No.578

12 2025.
月号

December

古きを学び、次の世代へ継承する
“しん” 昭和町

温故知新

contents

- 02 ふれあい温故知新事業
- 06 年末年始の業務休止等のお知らせ
- 08 まちのわだい

- 10 各種たより（教育昭和 ほか）
- 22 暮らしの情報 ほか
- 24 わが家のアイドル、みんなの食育 ほか

ふれあい温故知新事業

県下に誇る住みよい昭和町の足跡を知る

ふれあい温故知新事業とは、
町政に多大なご貢献をいただいた
有功表彰受賞者で八十八歳になる皆さまから、
昔の昭和町のお話を伺い、
忘れつつある過去の昭和町の姿や苦勞を
次世代に伝えていく事業です。

町では「故きを^{ふる}温ね、新しきを^{たず}知る」気持ちを大切に、
これからの町づくりを町民の皆さまと
一緒に考えていきます。

今年度八十八歳の米寿を迎えられるのは
花形武男さん（紙漉阿原区）と
畑野泰六さん（押越区）と
渡辺一豊さん（清水新居区）と
井上仲千さん（築地新居区）と
保坂明子さん（清水新居区）です。

「昭和町」の姿を見つめてこられた方々に話を
伺いました。

温故知新

ふるきを温ね 新しきを知る

はながた たけお
花形 武男 さん（紙漉阿原区）



地域を支え続けた情熱と責任感

「消防団に入ったのは34歳のとき。少し遅い入団でしたが、長く活動されている先輩方の姿に感銘を受け、8年間団員として活動しました。その後、副団長を1期務めました。」と語る花形さん。

副団長としての活動は多忙を極め、「当時は甲府市場の広場で訓練大会が行われていてね。副団長は2人いて、操法と礼式を分担し、私は礼式の指揮を担当しました」と振り返ります。

新入団員の研修は、消防学校で礼式や操法の訓練を学ぶのですが、会社勤めの新入団員が増えてきた頃には、消防学校への入校もひと苦労だったそうで、「町にお願いして通知を作ってもらい、それを会社提出して配慮してもらいました」とのこと。

消防委員としても3期務め、組織改革にも尽力されました。「今ある『指導部長』という役職は、私たちが作ったものです。以前は部長の上が機長と副団長しかなく、部長を終えたと辞めざるを得ない人が多かった。経験を活かしたい人が続けられるよう、新しい役職を設けました」と話されました。

また、固定資産評価補助員としても尽力いただき「新築の家を対象に訪問時間を調整していましたが、共働きの家庭が多く、連絡を取るのが大変でした。電話しても子どもが出ることもありましたね」と苦労話をお聞きました。

奥様を46歳という若さで亡くされ、「昔は区の役

を務めるには妻の支えが不可欠でした。一人ではできない時代でしたから。接待なども夫婦で行う必要がありました。そのため、私には区の役員を務めることができませんでした」と振り返ります。

農業委員は選挙で選ばれる役職だったため、奥様を亡くした後では選挙は難しいと思っていたそうですが、「議会推薦で学識経験者として務めることができました」と花形さん。

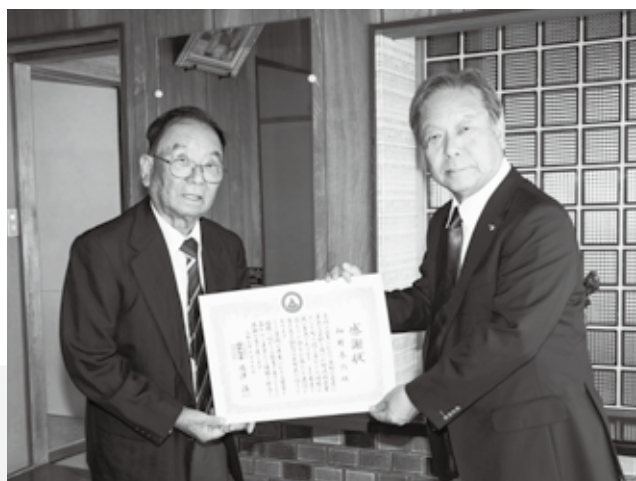
昭和町野球スポーツ少年団の立ち上げにも関わった花形さんは、「当時、有志6人でチームを結成しました。結成したばかりのチームにもかかわらず、中巨摩大会では優勝し、山梨県大会でも準優勝という好成績を収めました」と笑顔で振り返ります。

しかし、当時はチームユニフォームがなく、昭和町だけが私服にズック靴で大会に出場したそうです。

最後に「いろいろなことを経験させてもらって、いい人生を送ることができました」と感慨深げに語ってくださいました。

花形さんは、消防副団長、消防委員、固定資産評価補助員、人権擁護委員、農業委員会委員を歴任され、これらの功績により、平成18年の町制施行35周年の折に有功表彰を受賞されました。

はたの しんろく
畑野 秦六 さん（押越区）



地域とともに歩んだ人生

長年にわたり多くの役職を務められた畑野さん。「34歳のときに衛生委員を任されました。当時は村か

ら昭和町へと変わったばかりで、予算も限られていました。でも、蚊やハエの一斉駆除、ガレキの片付け、日本住血吸虫病撲滅のための宮入員の調査など、町民の皆さんと力を合わせて取り組みました。地元負担金もありましたが、皆で頑張った結果、今ではすっかり整備されています」と話されました。

消防委員としての活動については、「消防団員として活動していた頃から、大火や自然災害がなかったのは本当にありがたいことでした。日々の備えが功を奏したのだと思います」と振り返ります。

農業委員時代には、市街化区域・調整区域・農振区域の線引きが行われた時期で、農地の保全のためにしっかり調査を行い、宅地許可を出すことに努力されたそうです。

公共下水道審議会委員としては、事業が始まったばかりのタイミングで、「どう進めるべきかを役場の担当者と話し合いながら進めました。インフラ整備は町の基盤ですから、慎重に進めました」と真面目なお人柄が伺えます。

区長として印象に残っていることは、消防団員の詰所建設。「町の補助金に加え、区民の皆さんからのご寄付もいただいて、無事に竣工しました。今もその場所を拠点に団員の皆さんが活動してくれています」と畑野さん。

区内の道路は一周すると約8キロあるそうで、「毎月見回りをして、異変があればすぐに役場の担当者に連絡して対応してもらいました。自然災害時の対応も含め、地道な活動が大切です」と、日々の積み重ねの重要性を強調されました。

青少年育成推進員としては、PTA会長や進学対策委員長長の経験を活かし、「先生方と協力しながら、子どもたちが健康でしっかりした大人に育ってほしいという思いで活動してきました」と熱い想いを伺いました。

また、固定資産評価審査委員としては、町の固定資産税に関わる重要な役割を担い、公平性が求められる責任ある仕事に、町と真剣に向き合いながら取り組まれたそうです。

地域のために尽力されてきた畑野さんのお話からは、町づくりは人と人との協力の積み重ねであることが、深く伝わってきました。

畑野さんは、衛生委員、農業委員会委員、公共下水道審議会委員、押越区区長、消防委員、固定資産

評価審査委員、固定資産評価補助員、青少年育成推進員を歴任され、これらの功績により、平成23年の町制施行40周年の折に有功表彰を受賞されました。

わたなべ かずとよ

渡辺 一豊 さん（清水新居区）



地域を支え続けて

平成11年から固定資産評価補助員として活動された渡辺さん。沖田地区の区画整理が進む中、急速に住宅が建ち並び、当時を振り返ってこう語ります。

「本当に急激に家が建ちましたね。評価の仕事も、どこがどの家か分からないくらいでした。」

そんな中、農業委員も兼任してほしいという依頼がありました。清水新居区では前任者も兼任していたことから、自然な流れで両方の役を担うことになったそうです。

「清水新居では、みんなそんな感じでした。農業委員は農業振興を進めるための役割ですが、昭和町では農地開発の案件が多かったですね。だからセットでお願いされたのかもしれない。」

時代の流れとともに宅地造成が進み、農業委員の役割も変化していきました。

「私たちが辞める頃には、農業委員の定数も減られました。行政が対応できるようになってきたんですね。」

平成20年には区長代理としても地域に貢献。会計を担当しながら、農業と両立して地域の役を果たしました。

「百姓仕事をしながらの役職は大変でしたが、妻が協力してくれて本当に感謝しています。私は『引き受けたからにはちゃんとやらなきゃ』という性格なので。」と渡辺さん。

渡辺さんの責任感の強さは、幼少期の経験から育まれたものです。

「父が早くに出征することになり、小学校に上がった年の6月に出征しました。それからずっと家族を支える立場でした。下に3人の兄弟がいて、私は長男。小学校5年生の頃から田んぼの手伝いもしました。」

若い頃から苦勞を重ね、地域のために尽力してきた渡辺さん。今もその責任感と誠実さで、地域の人々に信頼されています。

渡辺さんは、固定資産評価補助員、農業委員会委員、清水新居区区長代理を歴任され、これらの功績により、平成23年の町制施行40周年の折に有功表彰を受賞されました。

いのうえ なかち

井上 仲千 さん（築地新居区）

井上さんは、議会議員、築地新居区区長、衛生委員、消防委員を歴任され、これらの功績により、平成18年の町制施行35周年の折に有功表彰を受賞されました。

ほさか てるこ

保坂 明子 さん（清水新居区）

保坂さんは、議会議員、清水新居区区長、清水新居区区長代理、社会教育委員、民生委員、青少年育成推進員、社会福祉協議会顧問を歴任され、これらの功績により、平成23年の町制施行40周年の折に有功表彰を受賞されました。



年末年始業務のご案内



		12/25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	1/1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)
役場(☎275-2111)	役場各種業務			休	休	休	休	休	休	休	休	休		
総合会館 (☎275-6461)	総合会館施設			休	休	休	休	休	休	休	休	休		
	温泉		休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	10時 から
児童館・児童センター (押原☎275-6462、西条☎275-9616、 常永☎275-0358、センター☎233-1152)				休	休	休	休	休	休	休	休	休		
図書館(☎275-7860)			休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
温水プール(☎275-9811) (12月中は空調設備更新工事のため休み)		休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
総合体育館(☎275-1115)				休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
彩の広場管理棟(☎275-8154)			休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
風土伝承館杉浦醫院(☎275-1400)				休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
ふじかわ聖苑火葬場(☎284-6375)									休	休	休			

※出生・婚姻・死亡届など戸籍に関する届け出は、休業中も役場の宿日直に提出できます(※死亡届は日中(8:30~17:15)のみの受付となります)

※ふじかわ聖苑火葬場の予約は休業中も受け付けています ※証明書等のコンビニ交付は、12/29~1/3の間、利用できません

ごみ収集日 問い合わせ 環境経済課 環境衛生係 (☎275-8355)

年末はごみがたくさん出ますが、収集日を守ってごみを出しましょう。

12月最後の収集日時以降は、1月の収集開始まで各自宅で保管し、収集小屋には絶対出さないでください。

		12月の最終収集日時	1月の収集開始日
燃えるごみ		29日(月) 8:30まで	5日(月)
燃えないごみ・缶類		24日(水) 8:30まで	7日(水)
粗大ごみ 小型家電 剪定枝	清掃センター	26日(金) 16:00まで (29日(月)・30日(火)臨時受入日(有料))	5日(月)
	河西金属	27日(土) 11:00まで	5日(月)
	総合体育館駐車場	22日(月) 6:30~8:30	26日(月)
資源ごみ	紙類	26日(金) 8:30まで	5日(月)
	プラスチック類	29日(月) 臨時収集日(8:30まで)	

公共工事等入札結果(令和7年度 第2四半期)

問い合わせ：総務課 法制係 (☎275-8153)

期番	入札日	工事名(業務名)	工事場所	落札業者	落札率	予定価格	落札額	工期
40	7月28日	町道364号線交差点改良測量設計業務委託	西条	(株)アイ・プランナー	92.105%	3,800,000円	3,500,000円	7/30~12/19
41		町内4校防火設備および建築設備定期検査報告業務	町内全域	望月建築設計事務所	96.571%	3,500,000円	3,380,000円	7/30~3/17
42		総合体育館床改修工事設計業務委託	押越	一級建築士事務所 葉袋設計	95.455%	1,760,000円	1,680,000円	7/30~12/26
43		社会体育施設空調設備設計業務委託	押越	一級建築士事務所 葉袋設計	95.500%	4,000,000円	3,820,000円	
44		移動式バスケットゴール(一対)購入	押越	コウノスポーツ	93.839%	8,440,000円	7,920,000円	9/19~2/27
45	8月19日	昭和町立温水プール空調設備更新工事	押越	(有)坂本工業	96.509%	48,700,000円	47,000,000円	
46		クレーン付き2tトラック購入	昭和町役場	不調(入札参加者なし)				
47		2tダンプトラック購入	昭和町役場	不調(入札参加者なし)				
48	8月27日	昭和玉穂中央通り線道路築造工事(7-5工区)【週休二日対象工事】	押越・河東中島	(有)坂本工業	96.712%	41,360,000円	40,000,000円	8/29~3/27
49		昭和玉穂中央通り線道路築造工事(7-6工区)【週休二日対象工事】	押越	(有)内藤組	97.772%	38,150,000円	37,300,000円	
50		町道124号線道路改良工事(7-1工区)【週休二日対象工事】	西条	(株)旭建設	97.663%	38,090,000円	37,200,000円	8/29~2/20
51		昭和町公共下水道管渠布設工事(7-7工区)	押越・河東中島	(有)金丸組	97.826%	16,560,000円	16,200,000円	8/29~12/5
52		昭和町公共下水道管渠布設工事(7-8工区)	押越・河東中島	興和建設(株)	97.363%	19,720,000円	19,200,000円	
53		押原公園かぜかもめ不点灯修繕	押越	深沢電気工業(有)	96.035%	2,270,000円	2,180,000円	8/29~3/31
54		「介護予防・日常圏域ニーズ調査(高齢者実態調査)」作成・実施・分析業務委託	昭和町・総合会館	山梨中銀経営 コンサルティング(株)	72.830%	2,650,000円	1,930,000円	8/28~3/31

※予定価格、落札額はいずれも税抜

山梨県心身障害者自動車燃料費助成金の 請求手続きについて

県中北保健福祉事務所では令和7年分の助成金(1月～12月分)の請求を次により受付けます。

◎受付期間内に手続きをしない場合、助成金の支払いは一切できません。

助成対象者 以下のすべてを満たす者

- ① 山梨県に居住
- ② 以下の手帳を所持している
・身体障害者手帳(1級、2級) ・療育手帳A ・戦傷病者手帳(特別、第1、第2項症)
- ③ 「山梨県」ナンバーの車両を所持している
- ④ 自動車税、軽自動車税(2輪のものは除く)の減免を受けている



請求方法及び受付期間

①郵送

受付期間 令和7年12月1日(月)～令和8年1月30日(金)まで(郵送の場合は令和8年1月31日(土)消印有効)

郵 送 先 〒407-0024 韮崎市本町4丁目2-4 中北保健福祉事務所 福祉課 宛
封筒の裏面に差出人の住所、氏名を必ずご記入ください。

②集団受付(予約不要)

場所	甲府会場	北巨摩会場
	リッチダイヤモンド総合市民会館 多目的室	北巨摩合同庁舎 101会議室
日程	令和8年1月7日(水)、22日(木)	令和8年1月6日(火)、14日(水)、29日(木)
受付 時間	●午前の部 9:30～11:30 ●午後の部 13:00～15:00	●午前の部 9:00～11:30 ●午後の部 13:00～15:00

必要書類

	書 類	集団受付	郵 送
①	山梨県心身障害者自動車燃料費助成金請求書(様式1)	原本	原本
②※	支払証明書(別紙1)	原本	原本
③※	購入量計算書(別紙2)及び あて名入り(フルネーム)領収書	原本	原本
④	身体障害者、療育、戦傷病者手帳	原本	全ページのコピー
⑤※	自動車税の減免を受けていることが分かる書類	原本	コピー
⑥	減免を受けている車両の自動車検査証記録事項 または自動車検査証	原本	コピー
⑦	請求書に記載した口座の預金通帳	原本	コピー
⑧	印鑑	持参	

※②、③はどちらか選択して提出 ※⑤は④に減免印がない場合に提出

【問い合わせ先】

中北保健福祉事務所 福祉課 韮崎市本町 4-2-4 ☎0551-23-3443
<https://www.pref.yamanashi.jp/ch-hokenf/57252305431.html>



ノスタルジアと現代アートの共鳴

現代アートLIVE × 杉浦醫院

10月12日(日)から26日(日)まで、昭和町風土伝承館杉浦醫院で現代アートの特別展が開催されました。

昨年に続き3回目となる今回は、彫刻や絵画、切り絵など6名の作家による多彩な作品が展示されました。

さらに今年は、作家の指導のもと、西条小学校2年生が作成した瓦アートも加わり、子どもたちの自由な発想が会場を彩りました。歴史ある杉浦醫院の空間と現代アートが溶け合うように配置され、訪れた人々は「ノスタルジアと現代アートの美しい共鳴のひとつとき」をゆっくりと楽しんでいました。



秋の実りに笑顔いっぱい!

すっきりしょうわ 稲刈り体験・焼き芋会

10月7日(火)と16日(木)、まちづくり自主活動グループ「人と環境すっきりしょうわ」の皆さんの指導のもと、常永小学校の5年生と第二上河東保育園の園児たちが稲刈り体験を行いました。初めての稲刈りに挑戦した子どもたちは、鎌の扱いにもすぐ慣れ、上手に稲を刈り取っていました。

また、11月12日(水)には焼き芋会が行われ、園児たちは5月に植えた芋が美味しく育ったことに大喜び。できたての焼き芋を頬張り、秋の実りを満喫していました。



夕暮れに響く 心温まる音の調べ

町立図書館開館35周年事業 夕暮れコンサート

10月19日(日)、総合会館2階軽運動室で、昭和町立図書館の開館35周年を記念して、例年よりも大規模な「夕暮れコンサート」が開かれました。

出演したのは、クラシックギターの山上浩幸さん・渡邊華さん・二上育矢さん、ファゴットの殿岡芽依さんの4名。クラシックギターやファゴットのソロ演奏に加え、山上さんと殿岡さん、渡邊さんと二上さんのデュエットも披露されました。

温かみのある音色が会場に響き、来場者からは惜しめない拍手が送られました。



▲ 山上 浩幸さん 殿岡 芽依さん



▲ 二上 育矢さん 渡邊 華さん

男女ともに関東大会へ！

第41回関東小学生バレーボール大会出場報告会

10月24日(金)、第41回関東小学生バレーボール大会への出場権を勝ち取った昭和男子・昭和女子バレーボールスポーツ少年団の選手たちが、塩澤町長へ結果報告に訪れました。男子は県大会優勝、女子は準優勝の快挙を成し遂げました。男女それぞれの代表からは、大会に向けての抱負と決意が述べられ、塩澤町長と柴教育長からは選手たちへ激励の言葉が送られました。女子については山梨県代表として全国大会への出場も決定しました。男女とも練習の成果を発揮できることを期待しています。



スポーツ少年団紹介

昭和男子バレーボールスポーツ少年団

昭和男子バレーボールスポーツ少年団は、小学1年生から6年生までの11名の団員が元気いっぱい活動しています。

いつでも見学や体験を受け付けていますので、興味のある方は是非一度遊びに来てください。

- 練習日 木・金 午後5時30分～8時
土・日 午前9時～午後1時または1日練習
- 練習場所 昭和町総合体育館(変更になる場合があります)



相談日

▶町長と語らいのとき

- お問い合わせください。
(総務課 ☎275-8153)

▶行政相談(※)

- 日時：12月17日(水)
午後1時～3時
場所：役場別棟2階 会議室(南)
(企画財政課 ☎275-8154)

▶教育相談(※) *正午～午後1時を除く

- 日時：年末年始・祝日を除く火・水・木の午前9時～午後4時
場所：教育委員会 第一会議室
(町青少年育成カウンセラー ☎275-6951)

▶障がい者相談支援センター

- 「穂のか」出張相談
日時：12月12日(金)・26日(金)
午前9時～正午
場所：総合会館1階
(福祉介護課 ☎275-8784)

▶昭和町認知症伴走型支援拠点「ひばり」(町委託事業)

- 認知症と診断された方やご家族など、町民を対象に相談を受付けます。
日時：平日午前9時～午後4時
(連絡先 ☎275-9511)

▶総合相談

- お問い合わせください。
(昭和町社会福祉協議会 ☎275-0640)

※印の相談は事前連絡不要です。
直接会場にお越しください。

お知らせ

▶ボカシつくり会

- 日時：12月22日(月)
午後1時～
場所：総合会館裏
(環境経済課 ☎275-8355)

ご意見

▶町へのご意見箱(ひとりの声)

ご意見など、町政についてお気付きのことをお寄せください。

○ホームページ

<https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/chocho/5151.html>



○郵送

〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町役場 総務課 宛

No.319

令和7年12月号

教育 昭和

Education
Showa

三つの歯車が一つになって

Learn まな **学ぶ**

Teach おし **教える**

Nurture はぐく **育む**

昭和町教育委員会 ☎275-3737

昭和町民会議

ふるさとふれあい祭りに参加

10月13日の昭和町ふるさとふれあい祭りに、高生連は今年も、学生ボランティアによる、金魚すくい・ヨーヨーつり・ポップコーン・フランクフルト・綿菓子の5つのコーナーを出店しました。今年、押原中学校から30名、甲府昭和高校から24名、総勢54名の参加を得ました。

中・高生、高生連役員との、校種、年代を超えての交流。お祭りへの参加をととしての社会参画、働くことの実体験など数々のねらいの下に企画した本事業。学生ボランティアの皆さんは、楽しみながら、知恵と工夫を凝らし、生き生きと活動に取り組んでいました。

ふるさとの祭りに参加し、多くの町民と出会い、社会とかわる喜びや郷土愛を育んでくれたことを、ともに喜びたいと思います。



活動紹介 清水新居区

8月17日、子どもクラブの行事で夏季レクリエーションが催されました。約50名の子ども達が集まり、公民館の中では椅子取りゲームや工作、屋外広場では流しそうめんや水鉄砲で大盛り上がり。我々役員は催しの進行役や会場準備、厨房では大量のそうめんを汗だくになって用意し、大変ではありましたがとても楽しい時間を過ごしました。同じ食品を箸でつつくようなイベントは数年前では考えられなかったのも、ようやく元通りに戻りつつあることを実感しました。

年明けにはここ数年中止にしてきたまゆ玉作りも実施する方向で進めています。気候変動や物価高、安全対策や流行病など、考慮しなければならない要素が増えている中、これからも子ども達に楽しんでもらえるイベントを考えていきたいと思います。

今年の球技大会は熱中症対策を踏まえて10月開催となりました。清水新居区は2チーム編成で挑み、両チームとも優勝することができました！

給食センター

給食センターから

いよいよ2学期の給食も残りわずかとなりました。寒さが日ごとに増し、体調を崩しやすい時期ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

12月は、子どもたちが楽しみにしている行事食が盛りだくさんの月です。給食は単なる食事の提供にとどまらず、「食」への関心や感謝の気持ちを育む大切な学びの場でもあります。郷土料理や季節の行事食について学ぶ機会としても、給食は大きな役割を担っています。

今月の「食育の日給食」では、地場産物の魅力を伝えるため、富士川町産の「ゆず果汁」や、北杜市産の「浅尾大根の切り干し」などを使用します。また、山梨県の郷土料理である「ほうとう」を通して、地域の食文化に親しむ機会も設けます。12月22日の冬至には、昔ながらの食文化に触れられるよう、「かぼちゃのそぼろ煮」を提供する「冬至の日給食」を予定しています。さらに、

「お楽しみ給食」では、彩り豊かなごはんやスープ、デザートなど、見た目にも楽しい献立を計画しています。

冬の旬を味わう食材

冬は、体を温める食材が多く出回る季節です。だいこん、にんじん、かぶ、ほうれん草、長ねぎなど、寒さの中で甘みを増した野菜をふんだんに取り入れた献立を提供します。

旬の食材を使ったメニューは、その季節ならではの味わいを楽しむことができ、自然の恵みを感じる素晴らしい機会となります。「旬のものを食べる」ことは、その時期に最も栄養価が高く、味も良いため、健康的な食生活につながります。給食を通じて子どもたちが季節の恵みを感じ、自然とバランスの取れた食習慣を身につけられるよう、日々工夫を重ねています。

来年も、地元の食材を活かしながら、地域とのつながりを大切に「給食づくり」に努めてまいります。どうぞ、良いお年をお迎えください。

甲府昭和高校

文武両道

甲府昭和高校で文武両道を貫いた水泳部の八木野航平選手は、小中学校時代から全国大会で活躍し、高校でも総体やインターハイに出場するなど、数々の輝かしい成績を収めています。昨年度は山梨県高等学校総合体育大会で男子50m・100m自由形の両種目を大会新記録で制し、全国大会でも上位入賞を果たしました。



水曜日以外は毎日練習に励み、平日は放課後18時から20時ごろまで、泳ぎ込みや筋力トレーニングを中心に取り組んでいます。大会の時期に応じて「追い込み」と「コンディション調整」を使い分け、練習後には自宅でストレッチを行い、体のケアも欠かしません。勉強時間との切り替えを大切に、限られた時間の中でも努

力を重ねてきました。

中学生のころはコロナ禍の影響で思うように練習ができず、伸び悩む時期もあったといいます。しかし、「漠然とした目標ではなく、明確な数値目標を持つことが大切」と気づいてからは、自己分析と工夫を重ね、着実に力を伸ばしてきました。泳ぎの改善点を見つけるため、他選手のフォームを観察し、素直にアドバイスを取り入れる姿勢も成長の原動力となっています。「支えてくれた家族や仲間、指導してくださる先生方への感謝を忘れず、まずは日本一を。そして3年後のオリンピック出場をめざしたい」と力強く語る八木野選手。

押原中学校出身で、今年度入部した1年生の加賀美花さんも日々努力を重ねています。ともに押原中学校で生徒会長を務めた共通点を持ち、今後の活躍がますます期待されます。



▲左から 加賀美 花さん
八木野 航平さん

生涯学習課

スポーツの秋！ 各競技の結果をお知らせします

○第52回昭和町クラブ対抗野球大会

優勝：上河東二区
準優勝：河西FFC
第3位：キトー野球部
昭和町役場野球部



○第36回シニアゴルフ大会

個人戦 優勝 坂本 正人 (西条二区)
準優勝 山本 和真 (飯 喰)
第3位 小林 二三雄 (西条新田)

団体戦 グロスの部 優勝 河西
新ペリアの部 優勝 西条二区

○第35回昭和町グラウンドゴルフ大会

優勝 河田 春江 (築地新居)
準優勝 梶原 文香 (押越)
第3位 野沢 敬夫 (西条一区)

○第42回昭和町地区対抗ソフトボール大会

優勝 河西
準優勝 西条二区
第3位 押越・阿原
第3位 清水新居



○秋の球技大会(親睦試合)



バレーボールの部



ゲートボールの部

スポーツフェスティバルが開催されました

11月2日(日)、押原公園でスポーツフェスティバルが開催されました。綱引き大会やモルック、なぎなた体験など大勢の方がスポーツを楽しんでいました。



教育委員会

◎9月定例会教育委員会の審議内容(10月承認の概要)は次のとおりです

○教育長報告事項

- ・9月実施四校会の報告について
- ・GIGAスクール構想に伴う情報モラル・情報活用能力の育成について
- ・秋の交通安全運動について
- ・バララッド・グラマー・ハイスクールとのリモートによる児童生徒の交流について

- ・服務規程の確保について
- ・働き方改革について
- ・人事異動作業について
- ・教育支援センターについて 他

○生涯学習課報告連絡事項

○学校教育課報告連絡事項

- ・今後の事業予定について 他

○協議事項

- ・就学援助費支給認定について



救急車、救急医療の 適正利用をお願いします

近年、「昼間は、仕事があるから病院に行けない」と軽い症状の方が、あえて夜間や休日に救急外来を受診する、いわゆる「コンビニ受診」や救急車の「タクシー利用」が増えています。

このような状態が増加していくと、本来、救急対応が必要な方への診療が遅れてしまい、助かる命を助けることができない可能性があります。また、救急医療を担う医師や医療スタッフの負担をますます重くし、地域の救急医療体制が崩壊してしまう可能性があります。

地域のみなさんが安心して救急医療が受けられるよう適正な利用にご協力をお願いします。

ひとりひとりができること

- ①「かかりつけ医」を持ちましょう。普段から相談できます。
- ②昼間の診察時間内に受診しましょう。
- ③本当に必要な時に、救急車や救急医療機関を利用しましょう。



すぐに受診した方が良いか
救急車を呼んだ方が良いか
迷った場合



救急安心センターやまなし

#7119(短縮ダイヤル)または
055-223-1418(ダイヤル回線)
●24時間365日体制

急なケガや病気等の
軽症の応急診療の場合



山梨大学医学部附属病院 初期救急医療センター

055-273-1122 要事前連絡
●午後6時から11時
(受付は午後10時30分まで)



子どもの休日、夜間の急な
発熱などの病気に関する相談



小児救急電話相談

#8000(短縮ダイヤル)または
055-226-3369(ダイヤル回線)
●夜間 午後7時～翌朝7時
●土曜日 午後3時～翌朝7時
●日曜日・祝日 午前9時～翌朝7時

救急・重症の場合は迷わず「119」へ！



- ・詳しい救急医療連絡は、A3のカレンダーをご覧ください。
- ・ホームページでも確認できます…

